

《沿革》

明治37年3月(1904年)	「大阪図書館」開館
明治39年12月(1906年)	「大阪府立図書館」と改称
昭和25年8月(1950年)	「天王寺分館」開館
昭和49年3月(1974年)	「天王寺分館」廃止
昭和49年4月(1974年)	「大阪府立図書館」を改組、旧本館を「大阪府立中之島図書館」に改称 「大阪府立夕陽丘図書館」発足
昭和56年3月(1981年)	「大阪文化問題懇話会」の提言
平成元年2月(1989年)	「新府立図書館建設基本計画策定委員会」の報告
平成2年度(1990年度)	「新府立図書館基本設計」策定 「新府立図書館システム基本設計報告書」策定
平成4年度(1992年度)	「新府立図書館実施設計」策定
平成4年11月(1992年)	コンピュータシステム開発着手
平成5年1月(1993年)	建設工事着手
平成7年9月(1995年)	建設工事竣工
平成8年3月(1996年)	「大阪府立夕陽丘図書館」廃止、特許関係資料を商工部へ移管
平成8年5月(1996年)	「大阪府立中央図書館」発足
平成8年5月10日(1996年)	「大阪府立中央図書館」開館
平成13年7月(2001年)	大阪府立図書館ホームページ開設(Web-OPACの公開等)
平成22年5月5日(2010年)	大阪府立中央図書館内に「国際児童文学館」開館
令和2年度(2020年度)	「書庫問題方針決定に係る検証(基本構想)」策定

《一年のあゆみ》 令和2年度

4月1日	遠隔地返却の本格実施(府内10市町村)
4月2日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館を延長(～5月6日まで)
4月10日	臨時蔵書点検(社会自然系資料室・同書庫、人文系資料室)(～4月21日まで)
5月1日	予約資料の着払いによる郵送貸出開始
5月5日	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館を延長(～5月15日まで)
5月12日	臨時蔵書点検(小説読物室)(～5月15日まで)
5月16日	予約資料の受取、開架図書の貸出等、一部来館によるサービスを再開(開館時間は9～17時)
5月18日	蔵書点検(2階)
5月20日	蔵書点検(人文系資料室書庫)(～5月23日まで)
5月23日	オンラインによる遠隔対面朗読を開始
5月25日	蔵書点検(障がい者支援室)
5月26日	座席を大幅に減らす等対策を講じたうえで通常開館時間に戻すほか、サービスを一部拡大
6月11日	視覚障がい当事者によるピアサポーター登録開始
6月25日	YouTube公式チャンネルにて地下書庫の紹介動画を公開(3月までに7本公開)
7月1日	府域図書館間の情報共有ツールとして「大阪府域図書館グループウェア」試行開始
8月7日	国際児童文学館資料を大阪市立中央図書館にて出張展示(～9月2日まで)
11月16日	開館しながら蔵書点検(地下書庫)(～12月18日まで)
12月11日	来館者アンケート実施(～12月22日まで)
1月15日	全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合・経営部門)を開催(動画配信)(～1月31日まで)
3月10日	YAチーム公式インスタグラム試行実施